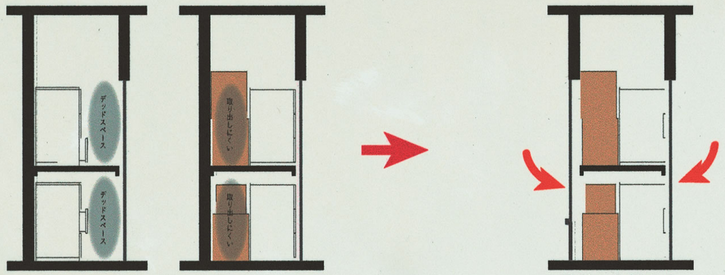
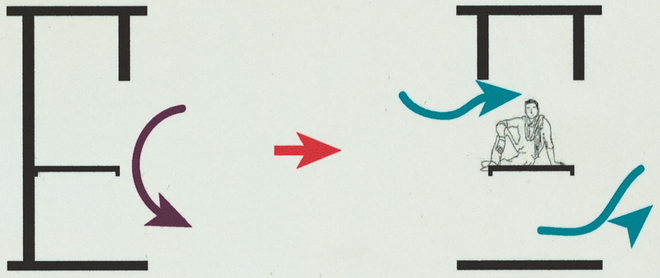
押入 兼 茶の間 兼 廊下

帰宅と同時に押入の戸を開き、おのおのの活動を広げていく住人たち。
得意の手料理を友人にふるまい、こづかいを稼ぐ僕。
向かいの山下くんとゲームを始める上良さん。
黙々と筋トレにはげむ下川原さん。
廊下にはみ出したアクティビティも、朝になれば戸締まりのため、店じまいします。
夜にだけ出現する、もの好きな屋台がひしめく下宿への改修提案です。

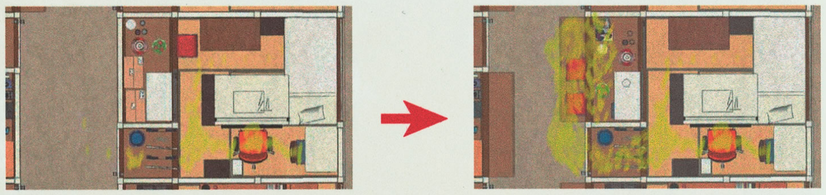
操作前　　押入と廊下との壁を戸にかえる　　操作後



奥行き 910 の押入は使いにくい　　両側から使える

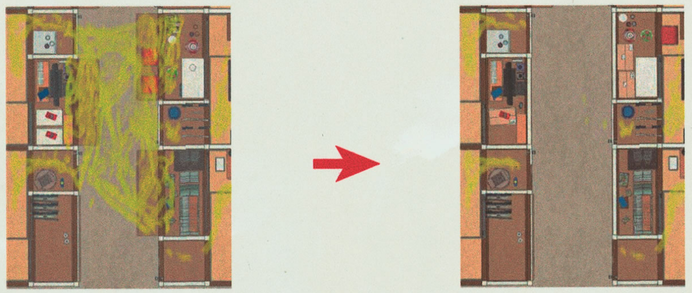


風通しがよくない　　風通し良好

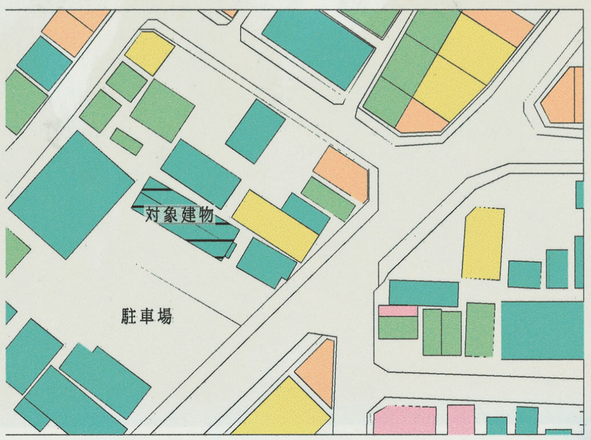


物が溢れる時代に取り残され　　くつろぐスペースが押入 - 廊下へと拡張する

手狭なくつろぐスペースで完結する 4 帖半の部屋



台所・風呂・便所まで共同であるのに
唯一分離されている茶の間　　共有化される茶の間

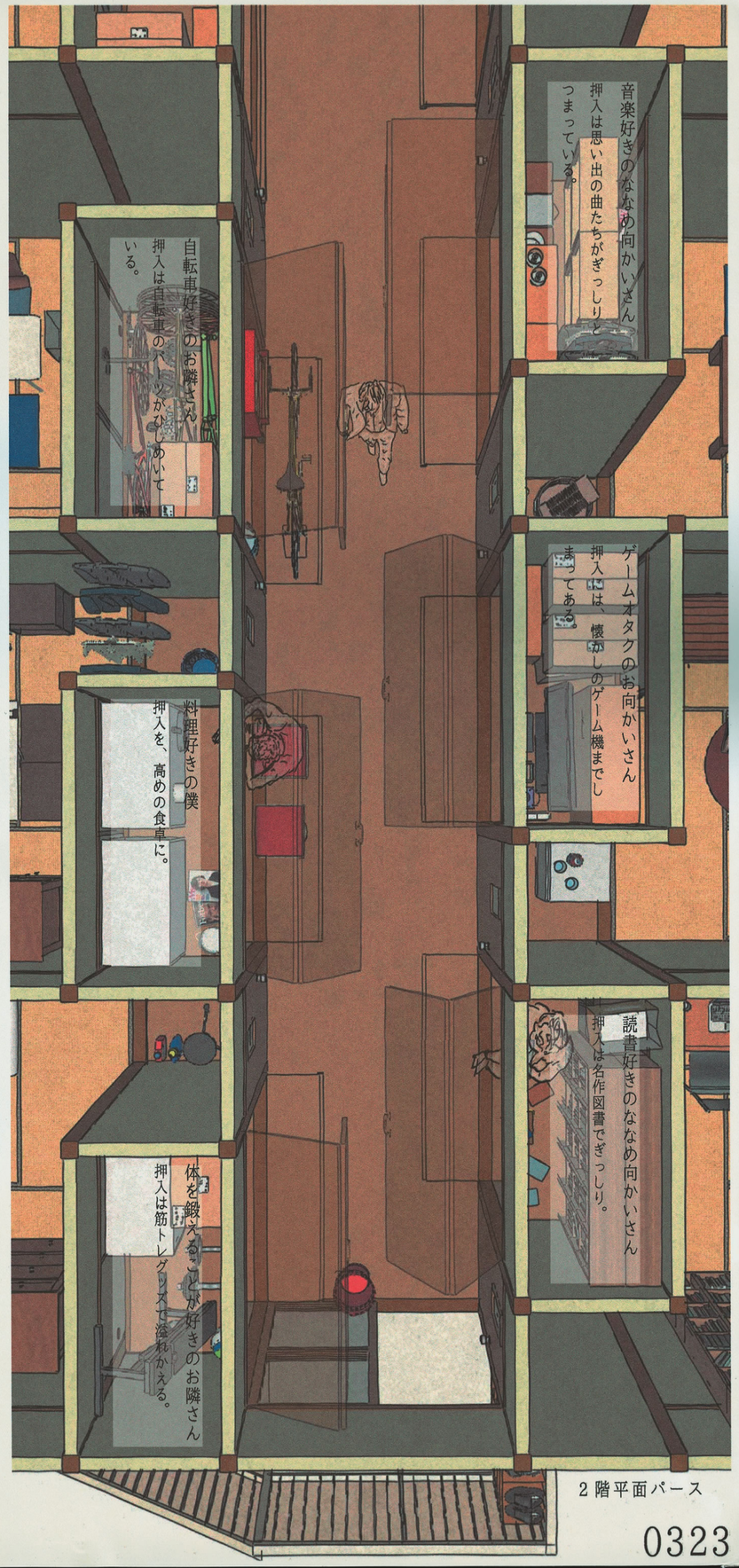


飲食店
小売店
工場
戸建て住宅
共同住宅

対象建物の基本情報
構造：木造
階数：2 階
竣工年：1970 年
居室の間取り：4 帖半和室
+1 帖押入
共同設備：台所・風呂・便所

学生のまち京都。その京都市の一乗寺に建つ、築 45 年の下宿が舞台です。
あたりには飲食店が建ち並び、ご飯どきはにぎやかになります。下宿のみんなは趣味にスペースをとられ、
手狭になりつつも、生き生きと暮らしています。

夜の廊下のようす



2 階平面パース